

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 河川課長 星野充孝 電話番号 0852-22-5195

事務事業の名称	河川・海岸計画		
目的	(1) 対象	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民	
	(2) 意図	河川・海岸の工事や維持を行う上での具体的な整備の目標や手法を明らかにする。	
事業概要	一級河川の指定区間及び二級河川のうち、事業実施を計画している、あるいは実施中の河川について、流域の具体的な整備目標や維持管理に関する事項を定めた「河川整備基本方針」、「河川整備計画」を策定・公表する。 また、防護・環境・利用の調和した海岸の保全に関する基本的な方針を明らかにするとともに、地域の意向等を反映させるため、「海岸保全基本計画」を策定・公表する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 河川整備実施中等の主要河川の河川整備基本方針、河川整備計画及び海岸保全基本計画策定数（平成27年度からの累計）	目標値		4.0	6.0	10.0	13.0	箇所
		取組目標値						
	式・定義 河川整備実施中等の主要河川の河川整備基本方針、河川整備計画及び海岸保全基本計画策定数（平成27年度からの累計）	実績値		4.0	5.0			
		達成率	-	100.0	83.4	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	34,760	67,560
うち一般財源 (千円)	34,760	67,560

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・二級河川のうち河川整備基本方針策定済が17水系、未策定が54水系、一級河川の指定区間および二級河川のうち河川整備計画策定済が21水系（流域）、未策定が67水系（流域）。
・平成29年度策定予定であった「八戸川流域河川整備計画」については、治水計画検討に期間を要し、策定が平成30年度となる予定。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成30年度策定予定の「八戸川流域河川整備計画」における住民意見の反映については、従来のアンケート方式に替えて、住民の方々から生の声を聴くことができる公聴会方式とする予定。それにより、住民意見とりまとめに要する期間が約2か月短縮することで策定の迅速化が図られるほか、コスト縮減が図れると考えている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・河川整備計画未策定の67水系（流域）については、当面の河川整備の予定は無いが、維持管理や環境保全を行う上で、流域住民等に対し具体的な目標や手法について示せていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・河川整備基本方針及び河川整備計画の策定には、治水計画検討や環境調査に加えて、委員会の開催、関係機関等の意見照会等が必要であり、策定に期間を要するうえ、策定に要するコストも大きい。

③原因を解消するための「課題」

・関係機関への意見照会等の手続きの迅速化及び環境調査にかかる作業期間やコストの縮減。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・策定作業のうち環境調査にかかる作業期間の短縮及びコスト縮減については、県独自の方法を検討する。また、関係機関への意見照会等の手続きのうち、国への申請に要する期間の短縮については、他県とも連携して国に働きかける。